

科目番号	32	科目名	滋賀論	
英文科目名				
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5201
担当教員	森 雄二郎 (人間 学部 講師)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	455教室	会場	聖泉大学	
授業期間	2024年6月～7月にかけての土曜日か日曜日で3日間(9:00～18:00)の集中講義			
超過時の選考方法	所類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		30	%
	平常点(出席・授業態度)		70	%
	その他()			%
別途負担費用	なし	あり()	1,100)円
その他特記事項	フィールドワークへの参加は必須、欠席連絡必要			
<講義概要・到達目標>				
<講義概要>				
滋賀県が持つ独自の風土や歴史文化に関する理解を深めることを目的とする。授業形態は、講義(10回分)、現場を巡るフィールドワーク(5回分)とする。フィールドワークは、琵琶湖周遊船に乗船し、各地を巡る予定である。履修するにあたり琵琶湖周遊船の乗船料(1,100円)が必要となる(履修後の払い戻し不可)。受講者が一定数に満たない場合、琵琶湖周辺地域の散策フィールドワークに代えることがある。集中講義(3日間)で開催する。				
<到達目標>				
(1)滋賀県の風土、歴史文化の特性について理解し説明できる。				
(2)滋賀県下における地域の現状と課題についての的確に把握し整理することができる。				
(3)地域資源を活かした地域づくりについて、具体的なアイデアや構想を提案することができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	6月～7月 (土あるいは日) ※日程調整の都合上、順序が入れ替わる場合がある	(1日目)オリエンテーション		
2		地域特性の把握①		
3		地域特性の把握②		
4		歴史・文化資源の活用①		
5		歴史・文化資源の活用②		
6		(2日目)フィールドワーク(琵琶湖クルージング)①		
7		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)②		
8		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)③		
9		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)④		
10		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)⑤		
11		(3日目)滋賀における政策課題①		
12		滋賀における政策課題②		
13		地域資源としての琵琶湖の保存と活用①		
14		地域資源としての琵琶湖の保全と活用②		
15		まとめ		
<教科書・参考書>				
教科書:各講義内容に応じて、資料等を提示、配布する。				
参考書:『12歳から学ぶ滋賀県の歴史』(編)滋賀県中学校教育研究会社会科部会,2005,サンライズ出版				